



陽 光

校報 第232号
男鹿市立北陽小学校
令和5年7月21日発行

短冊に願いを込めて

校長 小澤 進

7月5日（火）、1年生3人と担任の先生が雲昌寺に歩いて出掛け、七夕飾りのための竹をいただてきました。本校2階ホールに、1年生が中心となって飾り付けをした七夕飾りが登場。全校の子どもが願いを書いた短冊を付けました。願いが叶うといいですね。もちろん、そのための努力は必要です。

今どきの子どもたちの願いは、次のとおりです。

1年生

「サッカーせんしゅになれますように」「あたらしいゲームがほしいです」「じょうずにおよげますように」

3年生

「農家になれますように」「パティシエになれますように」「薬ざいしになれますように」「アイドルになれますように」

4年生

「レシーブが上手になりますように」「泳ぎがもっと速くなりますように」「一人で料理が出来ますように」「泳ぎが速くなりますように（せおよぎ）」

5年生

「スパイクが上手になりますように」「料理が上手になりますように（2人）」「裏回しのけりや中段突きが上手になりますように」「進んでしゃべれるようになりますように」「シュートを強くうてますように」「太鼓が上手になりますように」「速く走れるように」「字が上手に書けますように」

6年生

「クロールが上手になりますように（2人）」「サッカーで活躍できますように」「料理が上手になりますように」「バックスをきれいにできますように」「太鼓が上手になりますように」



いよいよ夏休み

さて、子どもたちは、7月22日（土）から8月22日（火）までの夏休みに入ります。普段なかなかできないことにじっくりと取り組んだり、家族や親族の方々と触れ合ったりと、長い夏休みを健康で有意義に過ごしてほしいと思います。夏休み後は、一回り成長した姿を見せてくれることを楽しみにしています。

ボランティアによる読み聞かせ

読書は、子どもが言葉を学び、感性を磨き、想像力を豊かにし、人生をより深く生きていく上で欠くことのできないものです。そのため、幼少期からの読み聞かせは、非常に大切にされています。読書好きな子どもを育てるきっかけにもなるからです。ある研究では、読み聞かせは、脳の活性化、心の発達、言葉の発達、更には問題行動にも効果があるという結果があります。小学生にも、中学生にも効果があるとのこと。今年度も北陽小学校では、4人のボランティアによる読み聞かせを年に8回計画しています。

